

# Alute

室内手摺 アルテ



Alute

## 吹抜手摺



量産を前提として設計された建材に付きまとう

あと一歩及ばない細部の納まり、どこか余計な要素、謎の存在感。

それらを極限まで取り除くことを目指した室内手摺、それが Alute です。

ノイズを抑えた笠木と支柱の納まり、一本のラインに見える中棧など、

あくまで一本の丁寧な線であることにこだわりました。

笠木や中棧は現場調整が容易な自在機構でありながらも、

造作手摺のような佇まいが Alute には宿っています。



## Alute 階段手摺



笠木、支柱、中棧、そのまっすぐな線を邪魔しないよう、  
段鼻、足元の固定方法は極力シンプルに。

足元の透かしは、不陸を吸収し現場の組み立てをサポートする施工性と、  
支柱が軽やかに踏板に乗るような印象を与える意匠性、  
その両方を兼ね備えます。

視覚的要素がむやみに多くなる宿命を負う  
量産前提のディティールを、改めて分解、再構築しました。

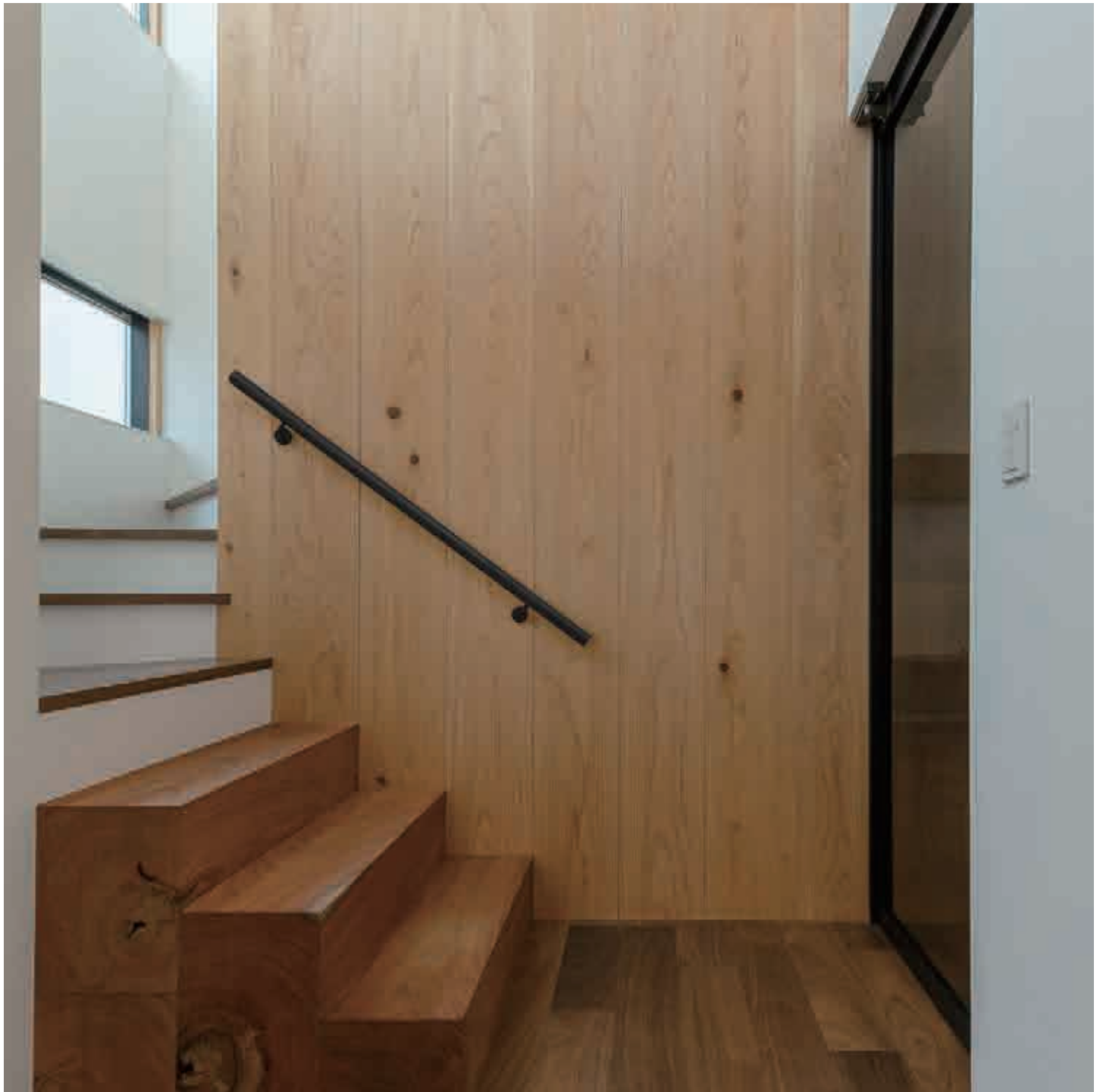
量産品でありながら、造作手摺を彷彿とさせる存在感を Alute は放ちます。





Alute

## 壁付手摺



Alute シリーズは既製品特有の野暮ったさを廃し、  
オーダーメイドの造作のように洗練された形状を追及しています。  
壁付手摺はその究極形とも言えます。

なにげないシンプルな造形の中に、ささやかなアクセントがちりばめられ  
量産品としての完成度と、造作のような洗練が同居をしています。

ブラケットのパイプ部を、吹抜・階段 Alute の支柱の首（笠木と接続される細くなっている部分）と  
同じ太さにすることでシンプルながらもシリーズ感が付与され  
吹抜・階段・壁付を一緒にご使用いただいても統一感のある空間を作り出します。

ブラケットはアルミ笠木、木笠木両方に対応可能です。



アルミ笠木

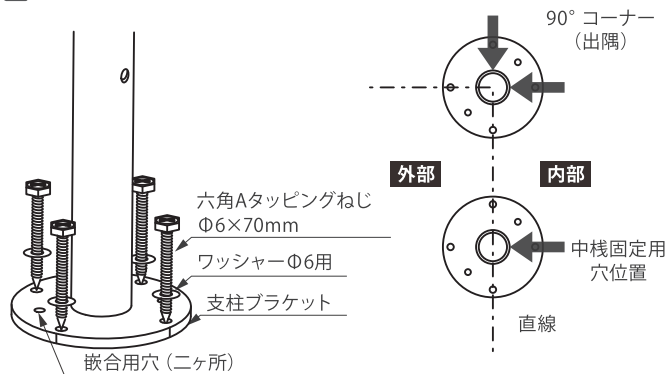


木笠木

# Alute 吹抜手摺

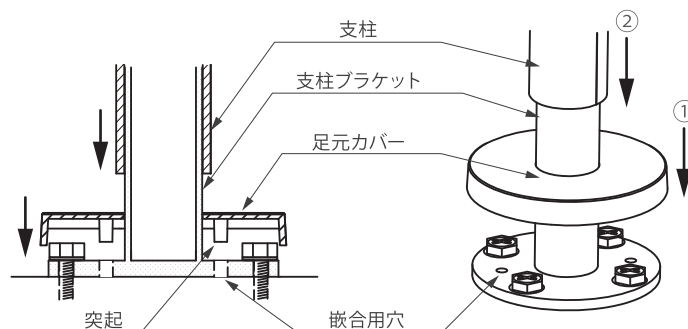
## 1. 支柱ブラケットの固定

- ①支柱ブラケットを、六角AタッピングねじΦ6×70mmで固定してください。
- ⚠支柱ブラケットのパイプに開いた中棧固定用の穴の向きに注意してください。
- ⚠必ず床材（フローリング等）の下地に固定してください。
- ⚠足元カバー嵌合用穴に固定しないよう注意してください。



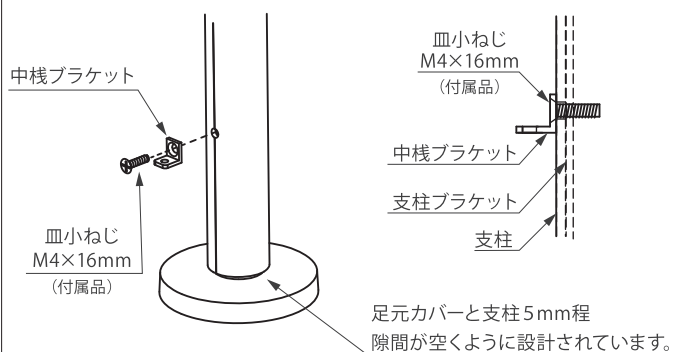
## 2. 足元カバーと支柱を被せる

- ①支柱ブラケットに足元カバーを差し込み、足元カバー内側の突起を、支柱ブラケットの嵌合用穴に差し込んでください。
- ②足元カバーを装着後、支柱ブラケットに支柱を差し込んでください。



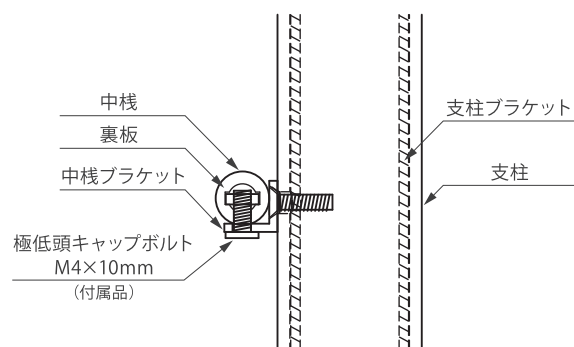
## 3. 中棧ブラケットの取り付け

- ①支柱と支柱ブラケットの穴位置を揃え、皿小ねじM4×16mmで中棧ブラケットを固定してください。

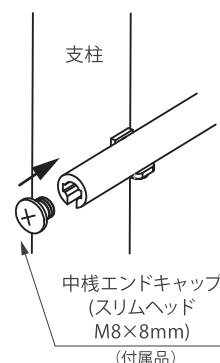
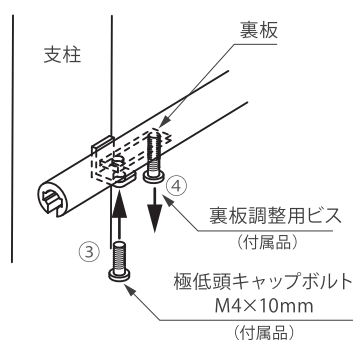
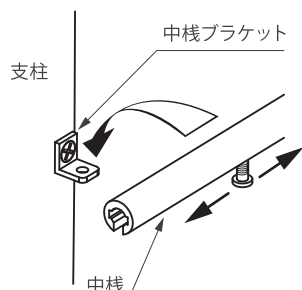
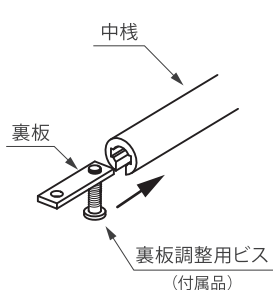


## 4. 中棧の取り付け

### 中棧の納まり



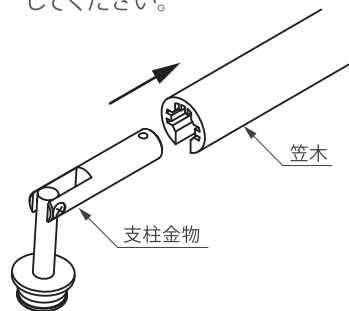
- ①裏板調整用ビスを装着した裏板を中棧に差し込んでください。
- ②支柱に取り付けた中棧ブラケットに中棧を乗せ、裏板とブラケットの穴位置を合わせてください。
- ③極低頭キャップボルトM4×10mmで、ブラケットと裏板を固定してください。
- ④裏板調整用ビスを外してください。
- ⑤中棧の両端を、中棧エンドキャップでフタをしてください。



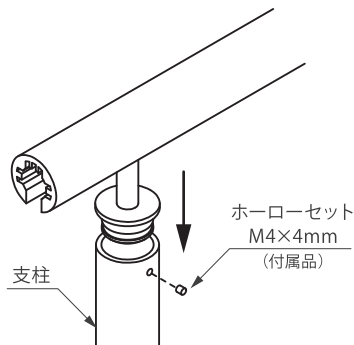


## 5. 笠木の取り付け

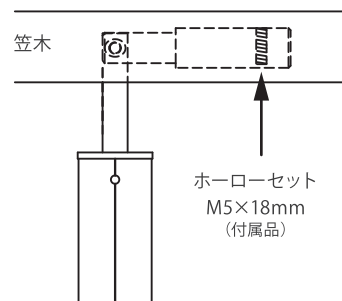
① 笠木に支柱金物を差し込んでください。  
支柱金物が笠木の中でその他の部材と干渉しないよう、差し込む向きに注意してください。



② 支柱金物を支柱に差し込み、  
ホーローセットM4×4mmで  
固定してください。

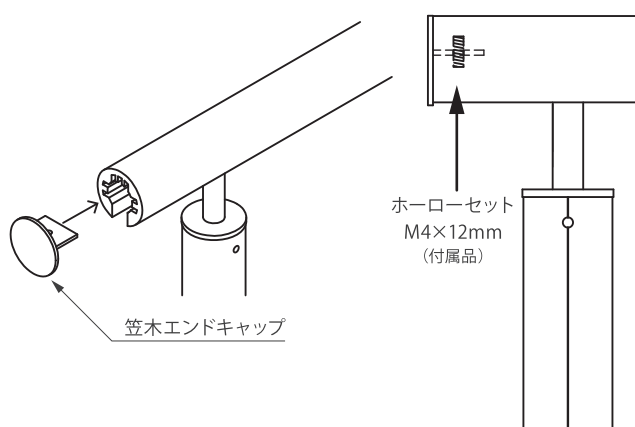


③ 支柱金物をホーローセットM5×18mmで  
笠木に固定してください。

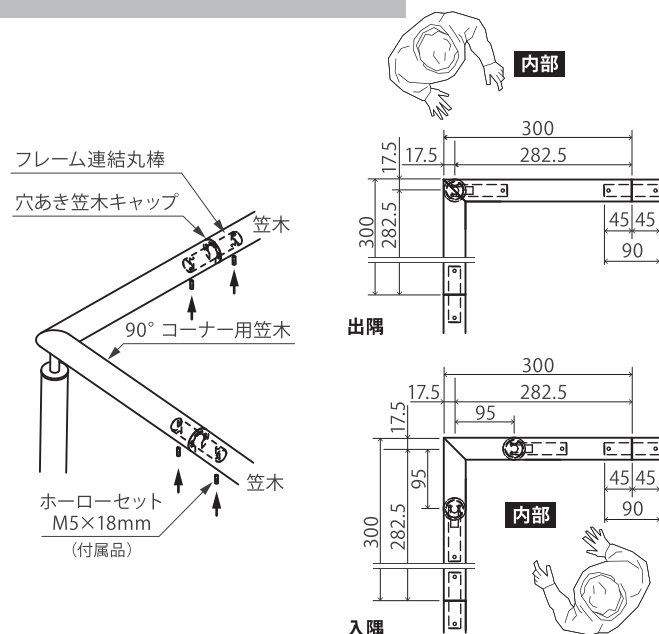


## 6. エンドキャップの固定

① 笠木の端に笠木エンドキャップを差し込み、  
ホーローセットM4×12mmで固定してください。



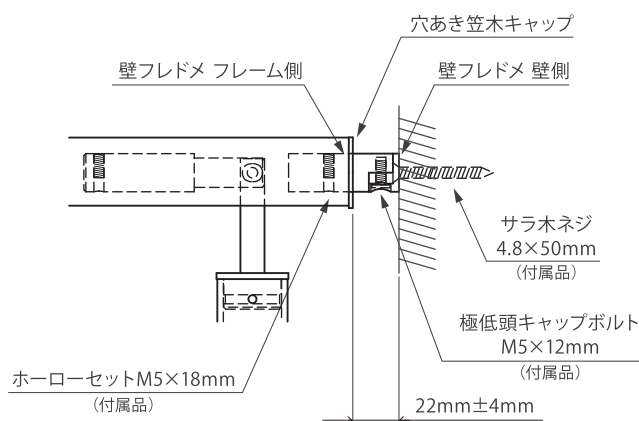
## ● 90° コーナー笠木の収まり



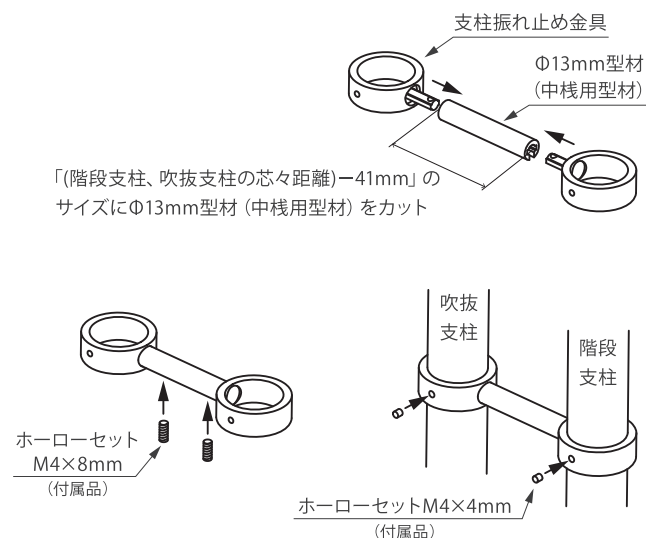
※上記の図は出隅のコーナーです。

## ● 壁フレドメの収まり

⚠ 笠木の揺れを抑えるために、なるべく壁フレドメをご使用ください。



## ● 支柱フレドメの収まり



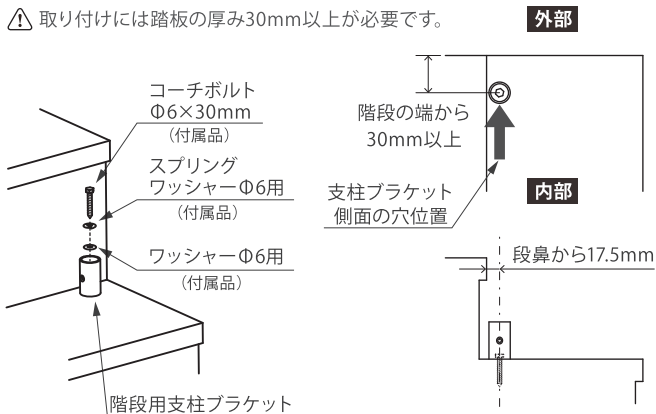
# Alute 階段手摺

## 1. 支柱ブラケットの取り付け

①階段用支柱ブラケットを、コーチボルト6×30mmで  
踏板上に固定してください。

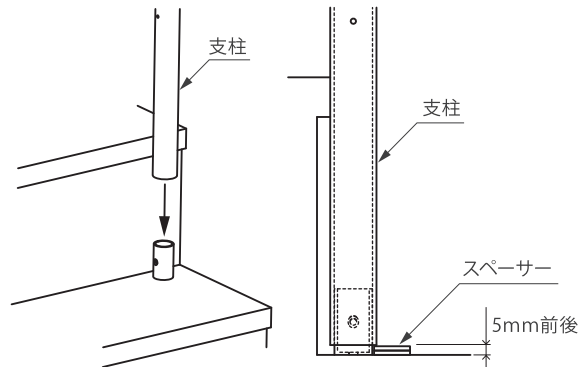
⚠ 階段用支柱ブラケットに開いた支柱固定用の  
穴の向きに注意してください。

⚠ 取り付けには踏板の厚み30mm以上が必要です。



## 2. 仮組み①

①支柱ブラケットに支柱を差し込み、仮組みします。  
高さを調整するために、踏板と支柱の間に  
スペーサーを挟んでください。(目安5mm前後)

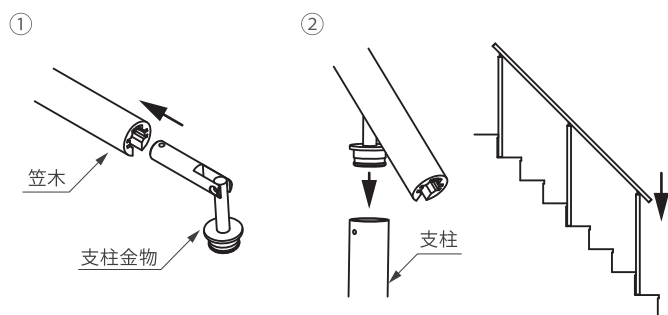


## 3. 仮組み②

①笠木に支柱金物を差し込んでください。

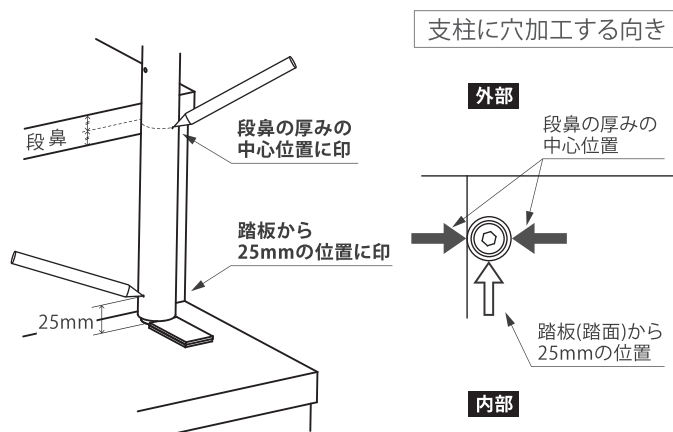
②支柱金物を支柱に差し込んでください。

支柱と支柱金物に隙間ができないよう  
スペーサーを使って支柱の高さを調節してください。



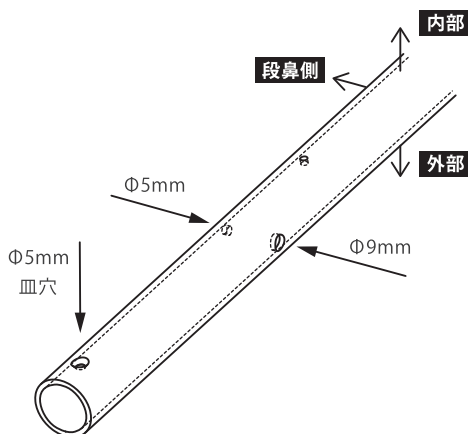
## 4. 支柱の加工①

①支柱の穴加工する箇所に印を付けます。



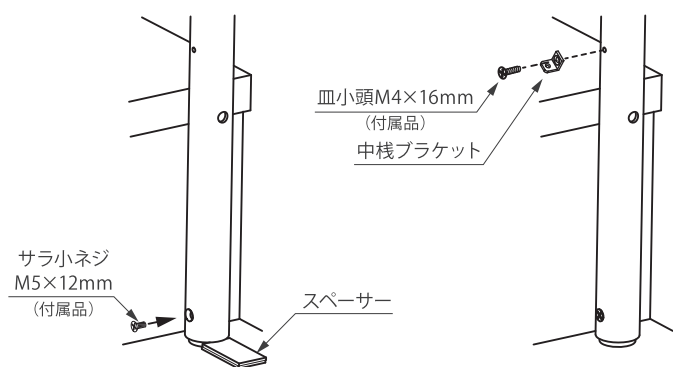
## 5. 支柱の加工②

①笠木、支柱を一度外し、  
支柱の印を付けた箇所に穴をあけてください。



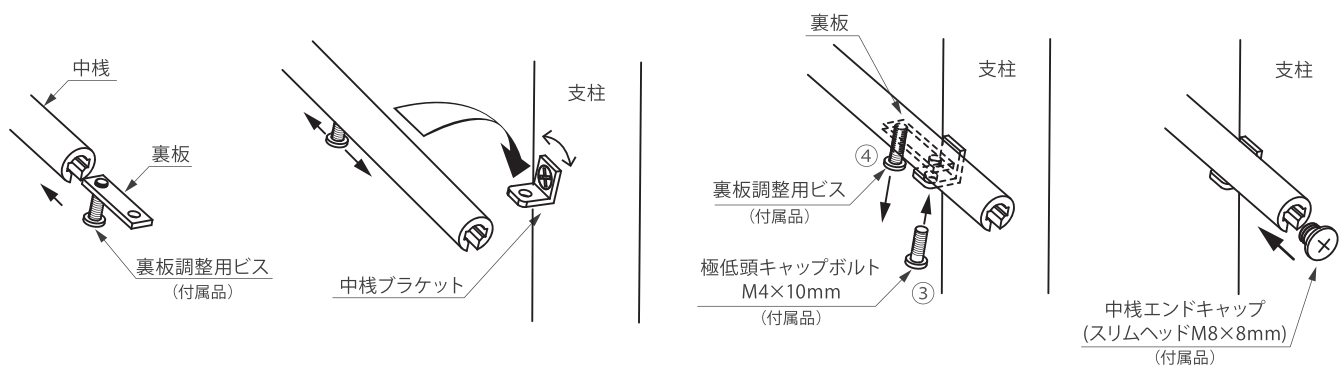
## 6. 支柱と中棧ブラケットの取り付け

①支柱を支柱ブラケットに差し込み、②中棧ブラケットを、  
皿穴加工した箇所を  
皿小頭M4×16mmで  
固定してください。

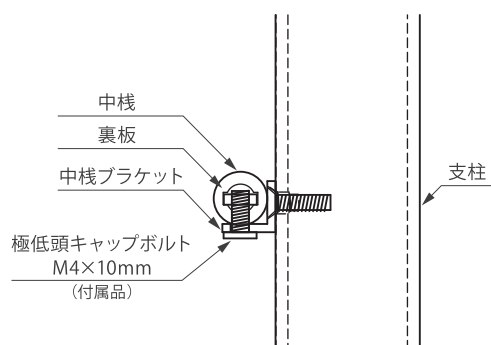


## 7. 中棧の取り付け

- ①裏板調整用ビスを装着した裏板を中棧に差し込んでください。
- ②支柱に取り付けた中棧ブラケットに中棧を乗せ、裏板とブラケットの穴位置を合わせてください。
- ③極低頭キャップボルトM4×10mmで裏板調整用ビスを外してください。
- ④裏板調整用ビスを外してください。
- ⑤中棧の両端を、ブラケットと裏板を固定してください。中棧エンドキャップでフタをしてください。

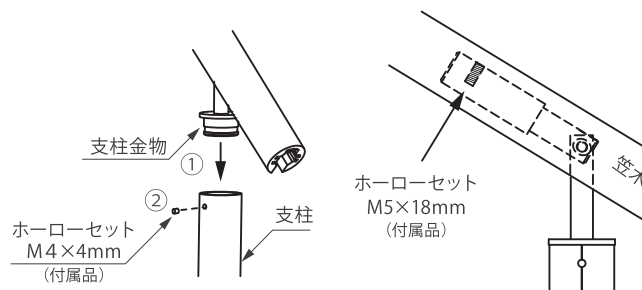


### 中棧の納まり



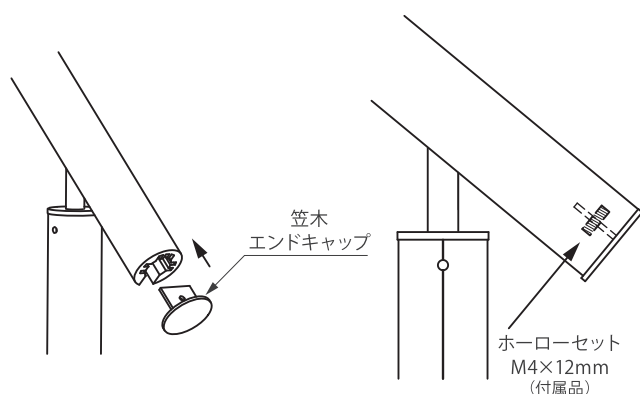
## 8. 笠木の取り付け

- ①笠木に支柱金物を差し込み、支柱金物を支柱に差し込んでください。
- ②ホーローセットM4×4mmで固定してください。
- ③支柱金物をホーローセットM5×18mmで笠木と固定してください。



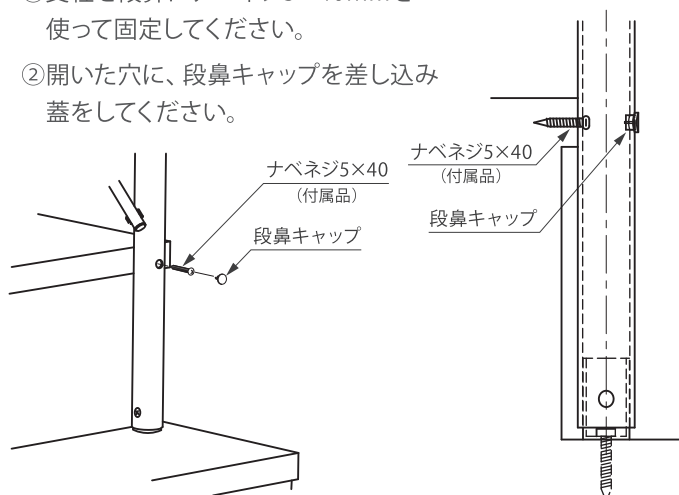
## 9. エンドキャップの固定

- ①笠木の端に笠木エンドキャップを差し込み、ホーローセットM4×12mmで固定してください。



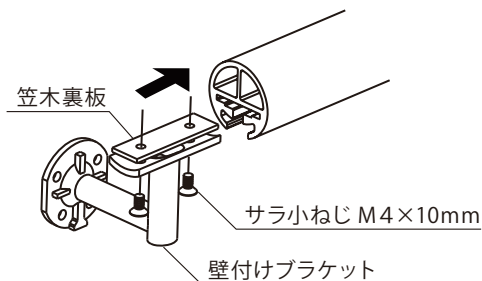
## 10. 段鼻の固定

- ①支柱を段鼻にナベネジ5×40mmを使って固定してください。
- ②開いた穴に、段鼻キャップを差し込み蓋をしてください。



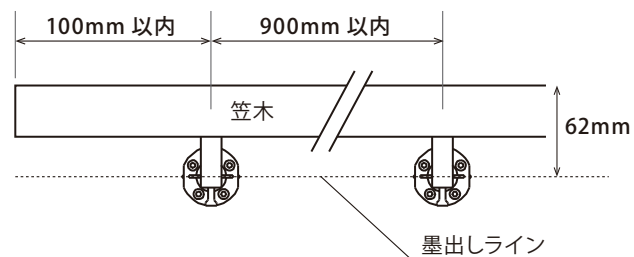
## 1. 墨出し

壁付けブラケットと笠木裏板をサラ小ねじM4×10mmで仮組みし、笠木に差し込んでください。



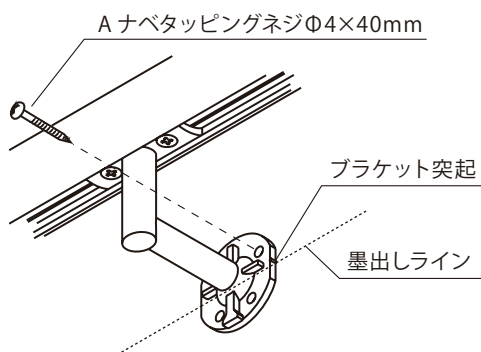
## 2. ブラケットの仮固定

壁に固定するおおよその間隔を開けた状態で裏板を締め、ブラケットを仮固定してください。

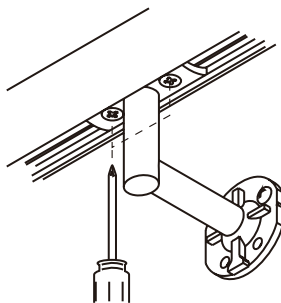


## 3. ブラケットと笠木の固定

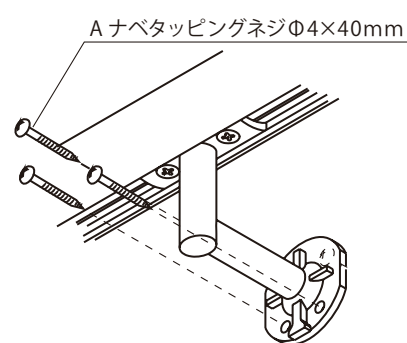
① 墨出しラインにブラケットの突起を合わせ、Φ2.8の下穴を開けてください。  
AナベタッピングネジΦ4×40mmで一か所とめ、仮固定してください。



② 笠木と仮固定していたブラケットのビスを締め、しっかりと固定してください。



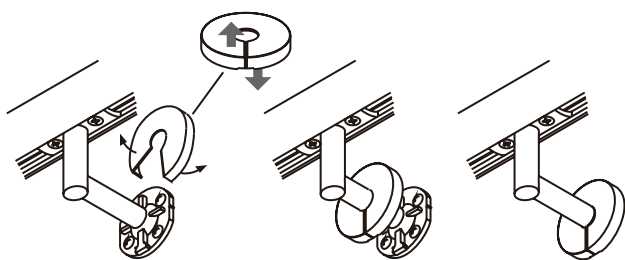
③ ブラケットに残りのビスを取り付けて本固定してください。固定の際は、下穴Φ2.8mmを開けてください。



## 5. カバーの取付

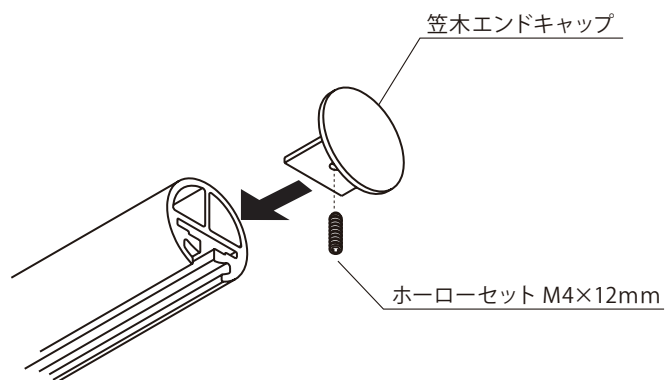
ブラケットにカバーを取り付けてください。  
カバーをねじるようにして広げて取り付けてください。

- ⚠ ブラケットの太さより広げないでください。破損の原因となります。
- ⚠ カバーは外しにくい構造となっています。今後の施工でブラケットを外す可能性が無い状態になってからカバーを取り付けてください。



## ● エンドキャップの取付

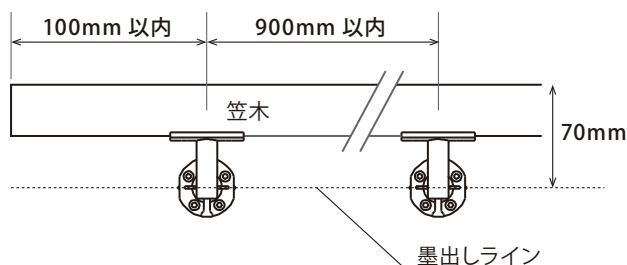
笠木エンドキャップを笠木端部に差し込み、  
ホーローセットM4×12mmで固定してください。



壁付手摺 木笠木

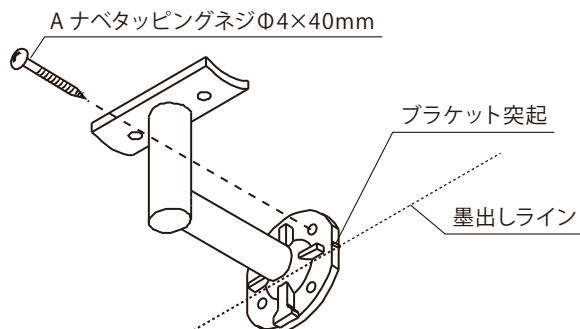
## 1. 墨出し

- ①手摺の高さ（上端）から70mm下方に墨出ししてください。  
 ② 下記の図に沿って、ブラケットの取付位置を決めてください。



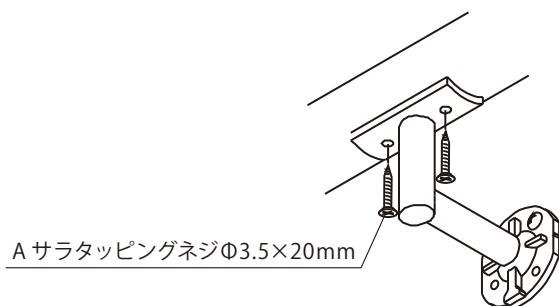
## 2. ブラケットの仮固定

墨出しラインにブラケットの突起を合わせ、  
 AナベタッピングネジΦ4×40mmで一か所とめ、  
 仮固定してください。  
 AナベタッピングネジΦ4×40mmをとめる際は、  
 Φ2.8の下穴を開けてください。



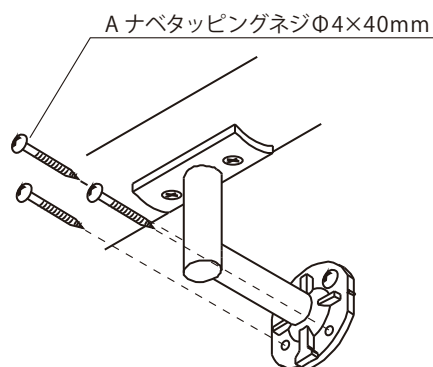
## 3. 笠木の固定

- ①笠木にΦ2.6mmの下穴を開けてください。  
 ②AサラタッピングネジΦ3.5×20mmで  
 ブラケットと丸棒を固定してください。



## 4. ブラケットの固定

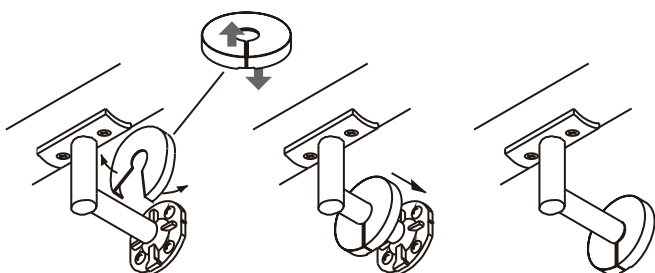
ブラケットに残りのAナベタッピングネジΦ4×40mmを  
 取り付けて本固定してください。  
 固定の際は、下穴Φ2.8mmを開けてください。



## 5. カバーの取付

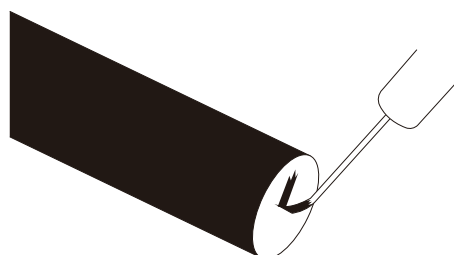
ブラケットにカバーを取り付けてください。  
 カバーをねじるようにして広げて取り付けてください。

- ⚠ ブラケットの太さより広げないでください。破損の原因となります。  
 ⚠ カバーは外しにくい構造となっています。今後の施工でブラケットを  
 外す可能性が無い状態になってからカバーを取り付けてください。

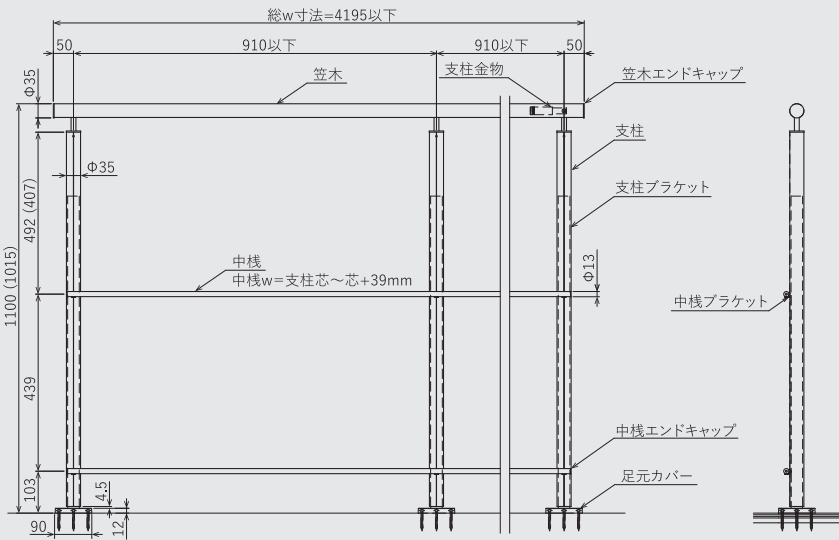
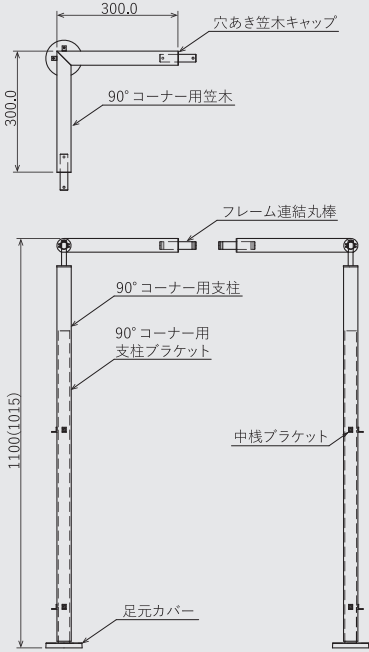



## ●小口の塗装

手摺小口は、小口塗装用補修液で塗装してください。





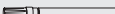
Alute  
吹抜手摺

概要 品番	吹抜手摺 H1100：ALU11F-BK H1015：ALU10F-BK	吹抜出隅コーナーセット H1100：ALU311D-BK H1015：ALU310D-BK
寸法・内容		
材質	笠木・支柱・中棧：アルミ押出型材(アルマイト仕上) / 支柱金物 フレーム側：スチール切削(メッキ加工) / 支柱金物 支柱側：スチール切削(焼付塗装) 支柱ブラケット・中棧ブラケット・中棧固定用裏板・笠木エンドキャップ・笠木ジョイント・穴あき笠木キャップ：スチール(焼付塗装/メッキ加工) 中棧エンドキャップ：ステンレス / 足元カバー：ASA / 90°コーナー用笠木：アルミ押出型材(焼付塗装)	
付属品	六角棒レンチ 2.0mm/2.5mm/3.0mm  ※付属するビス類は取付方法参照	—
備考	※手すりの強度は支柱と笠木によって確保しております。中棧は強度には関係ありません。 中棧は視覚上の安心感を与えるために設置しており、シャープな印象が伝わるように出来るだけ細く製作しています。 登るなど強い力を加えると変形することがございますのでご注意ください。	

吹抜手摺 定価						
笠木 L	支柱 本数	基本セット価格		価格内訳		
		H1100	H1015	笠木 単価	支柱単価	
					H1100	H1015
550	2	70,200	69,200	16,200	27,000	26,500
1010	2	74,800	73,800	20,800		
1465	3	107,200	105,700	26,200		
1920	3	113,500	112,000	32,500		
2235	4	149,100	147,100	41,100		
2830	4	153,300	151,300	45,300		
3285	5	182,900	180,400	47,900		
3740	5	186,000	183,500	51,000		
4195	6	216,200	213,200	54,200		

吹抜出隅コーナーセット 定価						
笠木 L	支柱 本数	基本セット価格		価格内訳		
		H1100	H1015	コーナー 笠木 単価	支柱単価	
					H1100	H1015
300 × 300	1	79,800	79,300	42,100	37,700	37,200

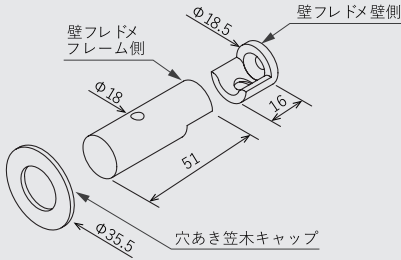
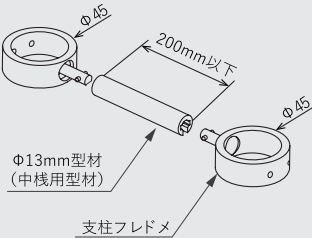
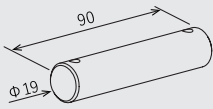


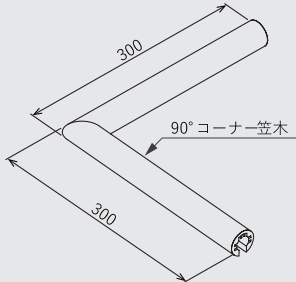
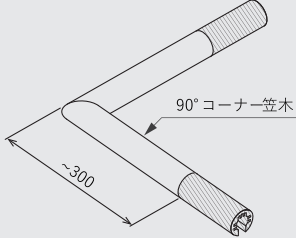
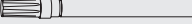
概要 品番	階段手摺 ALU10K-BK
寸法 ・ 内容	
材質	笠木・支柱・中棧：アルミ押出型材(アルマイト仕上) / 支柱金物 フレーム側：スチール切削(メッキ加工) / 支柱金物 支柱側：スチール切削(焼付塗装) 支柱ブラケット・中棧ブラケット・中棧固定用裏板・笠木エンドキャップ：スチール(焼付塗装/メッキ加工) / 中棧エンドキャップ：ステンレス / 段鼻キャップ：ASA
付属品	六角棒レンチ 2.0mm/2.5mm  段鼻固定用穴野書き治具  アルミ補修ペン  ※付属するビス類、スペーサーは取付方法参照

階段手摺 定価 （踏面210mm蹴上215mmをモデル寸法にしています。）												
段数 (目安)	笠木 L	支柱 本数	基本セット価格	価格内訳			段数 (目安)	笠木 L	支柱 本数	基本セット価格	価格内訳	
				笠木単価	支柱単価						笠木単価	支柱単価
4	810	2	69,500	20,500	24,500		10	2610	3	121,900	48,400	24,500
5	1110	2	72,600	23,600			11	2910	4	148,700	50,700	
6	1410	2	77,700	28,700			12	3210	4	151,000	53,000	
7	1710	3	106,900	33,400			13	3510	4	153,200	55,200	
8	2010	3	114,100	40,600			14	3810	4	155,500	57,500	
9	2310	3	119,600	46,100			15	4110	5	182,300	59,800	

※段数に対する笠木のL寸法は目安になります。踏面寸法、蹴上寸法が変わると、笠木のL寸法、必要な支柱数が変わりますので、笠木のL寸、支柱数についてはオーダーシートを使い、必ずお客様ご自身でご確認頂き、指定してください。

Alute  
その他部材

概要 品番	壁フレドメ ALU9W-BK	支柱フレドメ ALU9P-BK	笠木ジョイント ALU3-BK
寸法			
定価	¥15,000/セット	¥19,800/セット	¥6,000/セット
内容	壁フレドメ フレーム側 × 1ヶ 壁フレドメ 壁側 × 1ヶ 穴あき笠木キャップ × 1ヶ サラ木ネジ 4.8 × 50mm × 1本 極低頭キャップボルト 5 × 12mm × 1本 ホーローセット 5 × 18mm × 1本 金属用接着剤 × 1ヶ	支柱フレドメ × 2ヶ Φ 13mm 型材 (中棧用型材) × 1本 ホーローセット 4 × 4mm × 4本 ホーローセット 4 × 8mm × 2本	フレーム連結丸棒 × 1本 ホーローセット 5 × 18mm × 2本 穴あき笠木キャップ × 1ヶ
材質	スチール(焼付塗装/メッキ加工)	アルミニウム(アルマイト/焼付塗装)	スチール(メッキ加工)
備考	笠木を壁面に固定できます。 笠木端部から壁まで 22±4mmの隙間が必要です	階段手摺と吹抜手摺等、Aluteの支柱同士が 隣接する箇所で、支柱同士を接続できます。 Φ 13mm 型材を現場でカットし、使用します。	コーナー笠木使用時等、 笠木を延長する際に使用します。

概要 品番	コーナー笠木 ALU30C-BK	コーナー笠木カット ALU8C-MC	アルミ補修ペン AF10-B
寸法			
定価	¥42,100	¥5,500/ カット	¥1,500/ 本
内容	90°コーナー笠木 × 1ヶ 笠木ジョイント × 2本	-	アルミ補修ペン
材質	アルミ押出型材(焼付塗装)	-	-
備考	入隅コーナー等で、コーナー笠木のみ 購入する際のオプションです。 ※吹抜手摺専用です。	300mm以下のコーナーにコーナー笠木を 使用する際のカットオプションです。 ※吹抜手摺専用です。	黒色の補修ペンです。 設置時に露出した金属の素地を補修できます。 ※階段手摺には予め付属します。

■仕様に関する補足

吹抜手摺

- ・コーナー笠木と直線部材を組み合わせる場合は、吹抜手摺のW寸法から「-300mm」の笠木を選択してください。
- ・吹抜出隅コーナーセットは出隅専用です。入隅部は支柱を2本設置する必要があります。
- ・コーナー部材を組み合わせる場合には、吹抜手摺の支柱ピッチが910mm以下になるように支柱本数を調整してください。
- ・笠木の端部から近接する支柱の芯までのピッチは50mm以下にしてください。
- ・壁フレドメを使用する場合の、壁面から支柱芯までのピッチは、最大150mmです。
- ・支柱フレドメを使用する場合の支柱と支柱間のピッチは、最大241mmです。

階段手摺

- ・段数に対する笠木のL寸法は目安になります。
- ・支柱ピッチ（水平寸法）が840mm以下になるように支柱本数を調整してください。
- ・支柱は1段目の踏板（2段目の段鼻）から始まる仕様となっています。

Alute  
壁付手摺

概要 品番	壁付手摺
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p align="center"><b>アルミ笠木 ALW40AR-BK</b></p> </div> <div style="width: 48%;"> <p align="center"><b>木笠木 ALW40MR-BK</b></p> </div> </div>
寸法・ 内容	
材質	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;">           壁付ブラケット：亜鉛ダイカスト / アルミ笠木:アルミ押出型材            壁付ブラケットカバー：PP /            笠木裏板・笠木エンドキャップ(アルミ笠木用)：スチール         </div> <div style="width: 48%;">           壁付ブラケット：亜鉛ダイカスト / 木笠木：ゴム集成材            壁付ブラケットカバー：PP /         </div> </div>
付属品	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;">           六角レンチ2.0mm  </div> <div style="width: 48%;">           小口塗装用補修液  </div> </div>

アルミラウンド笠木				
壁付手摺 定価				
笠木 L	ブラケット数	基本セット価格	価格内訳	
			笠木単価	ブラケット単価
650	2	14,100	7,700	3,200
1100	2	19,000	12,600	
1550	3	27,200	17,600	
2000	3	32,100	22,500	
2450	4	40,300	27,500	
2900	4	45,200	32,400	
3350	5	53,400	37,400	
3800	5	58,300	42,300	
4500	6	69,200	50,000	

木笠木				
壁付手摺 定価				
笠木 L	ブラケット数	基本セット価格	価格内訳	
			笠木単価	ブラケット単価
4000	6	47,700	28,500	3,200

※木笠木（ゴム集成材）は、ブラック塗漬1色のみです。  
 ※木笠木のサイズはL4000mm1種類のみです。現場で切断してご使用ください。  
 ※アルミラウンド笠木は、オーダーサイズでカットして出荷可能です。  
 また、アルミ用チップソーをご用意いただければ現場で切断も可能です。  
 ※プラケット単品でも購入可能です。

#### ■施工上のご注意

- \* 外部用手摺として使用しないでください。
- \* 組み立て部品・ネジは付属品を使用してください。
- \* 取り付けは必ず専門業者で行ってください。
- \* 本製品はアルミ型材のため、製品の切断にはアルミ用のチップソーをご使用ください。
- \* 切断後に生じた製品のバリにはヤスリを掛けてください。
- \* 笠木のジョイント部に段差が生じないようにしてください。段差が生じると断面が露出し、事故・けが等の原因となります。
- \* 支柱ブラケットは必ず下地に固定してください。
- \* 階段用手摺は、厚み30mm以上の踏板を使用してください。

#### ■使用上のご注意

- \* 製品の破損やケガの原因となりますので、以下の行為は絶対にしないでください。
  - ・手摺にロープ等をかけて、重いものを運搬する。
  - ・手摺以外の用途に使用する。
  - ・手摺の上に乗ったり、身を乗り出す。
  - ・当社指定の付属品以外のものを取り付ける。
  - ・分解、改造を行う。

#### ※ 吹抜手摺・階段手摺の強度について

手摺の強度は支柱と笠木によって確保しております。中棧は強度には関係ありません。  
中棧は視覚上の安心感を与えるために設置しており、  
シャープな印象が伝わるように出来るだけ細く製作しています。  
登るなど強い力を加えると変形することがございますのでご注意ください。



